

「ごみ問題についてHDMを進める会と西岡市長との話し合い」報告

2020年2月12日報告：加藤了教

(1) 実施の経緯

以下のように市長よりの方針表明があり、前回の話し合いを基礎に再度、話し合いを実施することにしました。

市長の姿勢と「与えられた責任を誠実に果たします」(市報等)

西岡市長は新年のあいさつで「今年4月の新可燃ごみ処理施設の本格稼働に向けて、「昨年12月から、試運転に伴う可燃ごみの搬入を始めたところです。処理施設の近隣にお住まいの皆様ならびに関係者の皆様、また13年間に及ぶ広域支援にご協力いただいた関係者の皆様に心から感謝いたします。私は、市民の皆様の信託を受けて、引き続き市政を運営させていただくことになりました。」と述べられました。さらに「**今後に対話を重ねながら、着実に歩みを進めてまいります**」(市報1月1日号)とされたこと、さらには、4年前も市長就任直後にHDM進める会との話し合いをもったこともあり、今回再度の話し合いをお願いしました。

(2) 開催概要

日時：1月20日 11時～12時

場所：市役所本庁舎2F市長会議室

市側参加者：西岡市長、小野ごみ対策課長、大久保減量推進係長

HDM側参加者：川村、杉本、加藤

(3) 質問テーマ

- 1、三市可燃ごみ共同処理本格稼働にあたって、小金井市に「与えられた責任を誠実に果たす」ための具体的な施策について知りたい。
- 2、プラスチックゼロ宣言や気候変動危機非常事態宣言を出すべきではないか。
- 3、リサイクル事業者は、3月で閉鎖されようとしています。今後のリユース・リサイクル事業については、計画・方針もないままリサイクル事業所の閉鎖はあり得ない。リサイクル事業所の継続と拡大・充実を求めます。
- 4、廃食油は、行政回収実施すると決めながら、2年を経ても実施していない。廃食油行政回収に実施時期はどうなっているのか。
- 5、生ごみ減量・資源化施策について
HDMシステムの導入及び生ごみ分別収集は市議会全会一致で採択され、議会意思は決まっています。可燃ごみの半分を占める生ごみの減量はごみ減量の柱です。今後の具体的な取り組みについて、伺いたい。

(4) 回答内容

その場で簡略に回答をいただきました。HDM側はそれぞれの問題について再度説明や反論を加えました。最後にごみ対策課長は、現在パブコメ中なので、正式にはパブコメを審議会に報告・審議し、その後正式回答となるので、今日の話はこの席での話にしてもらいたいと付け加えられました。そのため、今回は、この場での回答については、公開は控え、後日適当な時期にその回答内容は紹介したいと思います。